

## 式 辞

新入生の皆さん、五條西中学校へのご入学おめでとうございます。

木々の緑が柔らかな色合いを見せ始め、春たけなわの心地よい季節になりました。

この良き日に、大変ご多忙の中

五條市教育委員会教育委員 井本誓晃、様

本校PTA会長 花坂 様

のご臨席を賜り、本日、令和五年度第二七回入学式を挙行できますことは、大変ありがとうございます。

高いところからではありますが、深くお礼申し上げます。

先日、卒業生を送り出し、少し寂しい思いをしていましたが、本日、瞳輝く意気揚々とした新入生を迎えることができ、私たち教職員一同、新入生に出会えた喜びに満たされています。

新しい制服に身を包んだ、新入生の皆さん、五條西中学生の一員として、今日からスタートを切るようになります。そして皆さんは、今日の日を迎えるにあたり、中学校生活を送る上での目標や夢を抱いていることだと思います。

少し前の話になりますが、WBCでの日本チームの活躍はみなさんもお承知だと思いますが、大谷選手や村上選手、吉田選手、そして五條市出身の岡本選手らの活躍に、私もテレビに釘付けになり、勝ち上がっていく姿に目頭が熱くなる思いでした。

世界的にも有名になった大谷選手ですが、彼がどうしてここまでの選手に成長できたのでしょうか。無論、類い希なる体格や才能もあったかもしれませんが、それよりも目標や夢を実現させるための強い意志と、どれだけ具体的にその目標に対して頑張れるのが大事だと彼は言っています。彼は、花巻東高校時代には「目標達成シート」というものを作り、その目標を達成するためには、いつまでに何をするのかを具体的に書き込んでいたらしいです。何となく夢を描くのではなく、必ず達成するために何ができるのかを常に考えていたのだと思います。

新入生の皆さんも、この中学校での3年間の生活を終えると、義務教育は終了となります。少しでも早いうちに、将来の夢や目標を持ち、その実現のためにできることを、具体的に考えてみてはどうでしょうか。少しずつでも日々努力を積み重ねて下さい。

そして、五條西中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、充実感と満足感で満ちあふれる生活にしていきましょう。

思い返せば今までの3年間は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で入学式直後から、休校

措置をとったり、分散登校を余儀なくされ、通常の学校行事等も変更を余儀なくされる学校生活でした。みなさんも、小学校4年生時から窮屈な学校生活を強いられてきたことでしょう。

いよいよこの4月からはマスクの着用義務もなくなり、5月8日以降は感染症分類も5類となり、より一層緩和されます。

今後は、感染症の対策は行いながらも、君たちの学びの歩みを止めることのないよう、できる限りの工夫をしながら、様々な勉強と一緒に頑張っていきたいと思えます。

五條西中学校の生徒は、全校生徒が一つになって互いに協力し、意欲的な学校生活を送っています。今日から始まる中学校生活で不安や戸惑うことがあれば、遠慮せず在校生に聞いて下さい。きっと優しく丁寧に相談に乗ってくれることでしょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとございます。本日より、皆様の期待と信頼に応えられるよう、全職員心を一つにして、責任を持って大切なお子様を五條西中生としてお預かりいたします。

すばらしい学校生活になるよう教職員一同、精一杯努力してまいりますので、本校教育に温かいご支援とご協力をお願い致しまして式辞といたします。

令和五年四月十日

五條市立五條西中学校長 奈加 晃典